

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に...

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後で...

取扱説明書・使い方をお手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、< >で同根先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

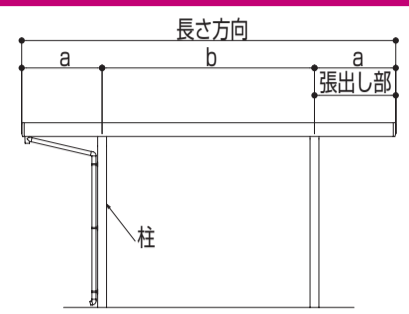
項目	チェック欄
1 基礎寸法	
2 シーリング	
3 柱の間隔・垂木・屋根の直角・後枠の水勾配	
4 側枠・垂木取付ねじの締付け	
5 柱の水抜き穴	
6 屋根ふき材のみ込み	
7 屋根ふき材押えの押しあて	
8 屋根ふき材押え取付ねじの締付け	

注意

- このカーポートは積雪～20cm地用（積載荷重 600N/m²（61.2kgf/m²））です。積雪量が20cmを超える前に雪おろしをするを施主様に確認してください。商品が破損するおそれがあります。
- 雪おろしの目安は、積雪 1cm 当たり 30N/m² で計算しています。湿った雪の場合等は、1cm 当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
- 風の強い場所では、サポート（オプション）を取付けてください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。
- 脚立を使用の際は、天板の上に載ること、またかごごと、座ることが禁止されています。脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書をお読みの上、ご使用ください。

注意

長さ方向出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



シーリングは必ず実施してください!

- 「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされない、漏水の原因となります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

合掌・連棟およびハーフセット施工時の注意

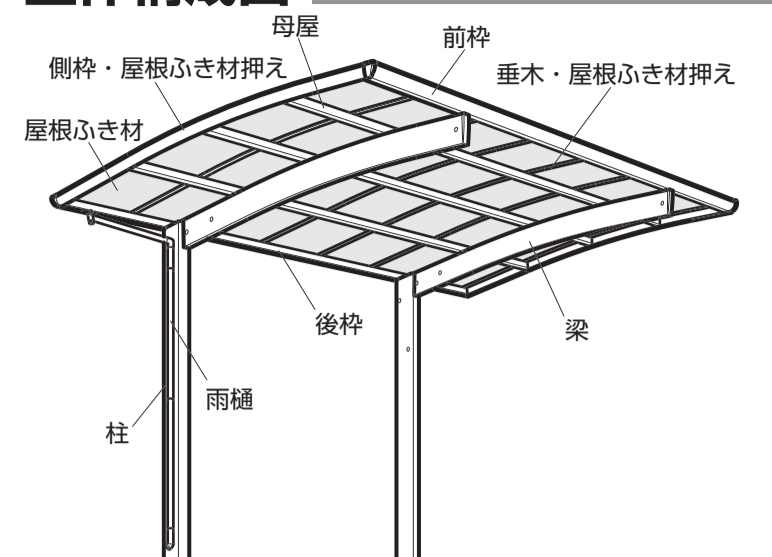
サイズ違いの合掌・連棟およびハーフセットを施工する際は、柱・梁・ジョイント材を使い分ける場合がありますので、注意ラベルを必ず確認してください。（注意ラベルは柱・梁・ジョイント材に貼付してあります。）

施工時の注意ラベル

お願い

- 屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようにご配慮ください。（図参照）
- カーポートの屋根が強風であられるのを避けるために、前枠側を建物にむけて施工してください。（図参照）
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 基礎コンクリートには塩化系の薬剤（結核剤等）や海砂を使用しないでください。
- 柱の高さの原因となります。
- 屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
- 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
- 柱では、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因となります。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因となります。
- カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしごをかけないでください。カーポートの破損だけでなく落下事故の原因となります。
- 部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をベンチ等でかき直してください。

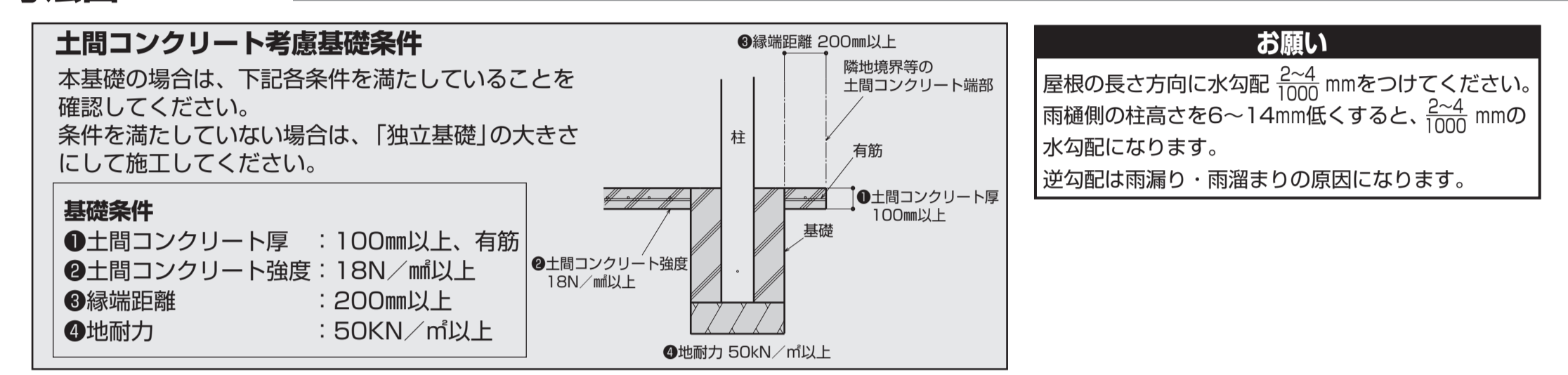
全体構成図



同梱一覧

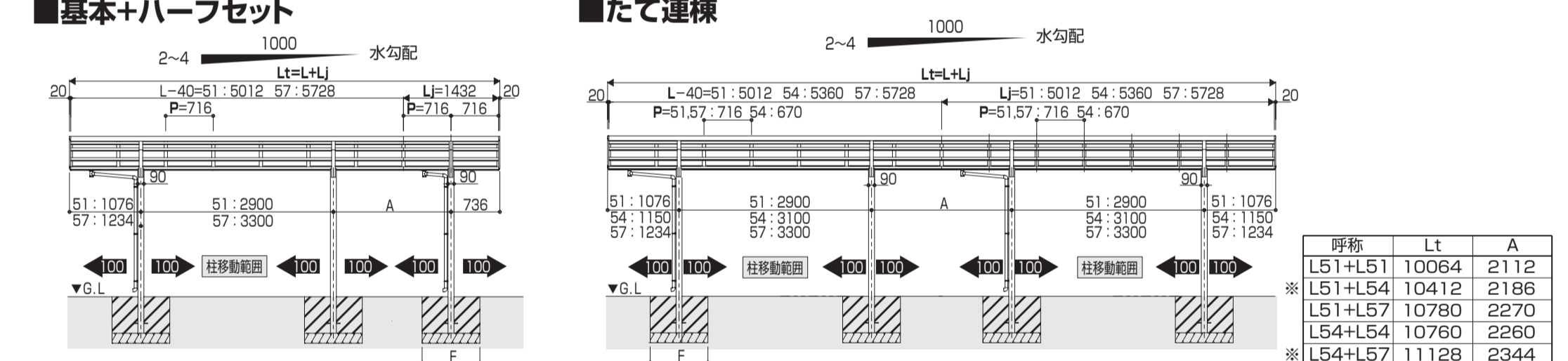
部品名	数量		
柱ユニット HCS-RA###-##			
部品			
柱	1		
たて柱	K-34805		
呼び柱	K-34805		
HCS-RA20#	2		
HCS-RA24#	2		
HCS-RA20A-1T	1		
HCS-RA24A-1T	1		
HCS-RA28#-1T	1		
HCS-RA28#-1	1		
梁ユニット HCS-RB###			
部品名	数量		
HCS-RB##	2		
HCS-RB#A-1	1		
ジョイント材ユニット CCS-RG##J			
部品名	ジョイント材		
部品			
ジョイント材	5K-16549 5K-16550 5K-16551		
CCS-RGA2J	2		
CCS-RGB2J	2		
CCS-RGC2J	2		
CCS-RGA1J	1		
側枠ユニット HCS-RC##			
部品			
側枠	2		
屋根ふき材押え	3K-21853		
パッキン	2K-38151		
前枠キャップ	2K-38152		
後枠キャップ	2K-38153		
ドレイン	2K-31200		
穴隠し	K-36937		
前後枠・母屋ユニット HCS-RD5###			
部品名	数量		
前枠	1		
後枠	1		
母屋	3		
HCS-RD5##	4		
垂木ユニット HCS-RE###			
部品名	数量		
垂木	6		
屋根ふき材押え	6		
HCS-RE#	7		
連棟垂木ユニット HCS-REJ###			
部品名	数量		
連棟垂木	1		
連棟屋根	1		
HCS-REJ4#	1 2		
部品ユニット HCS-RG###			
部品			
柱アンカー	K-11711		
柱カバー	5K-17920		
雨樋セット	EA-E1		
緩衝材	2K-49807		
産金組込六角ボルト (M8×25)	6K-10581		
トラスタッピンねじ (φ5×10)	ET-5010		
穴蓋ギヤール (φ4×14)	K-40433		
柱移動用	柱移動用		
HCS-RG51	2		
HCS-RG57	2		
HCS-RG5130	2		
HCS-RG5730	2		
連棟部品ユニット HCS-RGJ##			
部品			
前枠	1		
後枠	1		
母屋	3		
緩衝材	2K-49907		
前枠連結材	3K-19543		
後枠連結材	4K-17641		
柱アンカー	K-11711		
柱カバー	5K-17920		
HCS-RGJ	1		
HCS-RGJ30	1		
HCS-RD14	1		
HCS-RD1430	1		
合掌材ユニット HCS-RM##			
部品名	数量		
合掌材	1		
HCS-RM#	1		
M合掌部品ユニット HCS-RGM#			
部品			
梁連結材	3K-13929		
M合掌材プレート	3K-19541		
M合掌材キャップ	2K-38161		
六角ボルト (M8×75)	SBH-M08075		
六角袋ナット (M8)	FN-M08		
六角ナット (M8用)	N-M08		
ワッシャー (M8用)	W-08		
トラスタッピンねじ (φ5×25)	ET-5025		
HCS-RGM1	2		
HCS-RGM2	4		
屋根ふき材ユニット (厚さ: 1.8mm)			
ユニット記号	長さ	幅	数量
CCS-RF24-2#	2387	706	2
CCS-RF24-3#			3
CCS-RF24-4#			4
CCS-RF5424-4#		654	4
CCS-RF25-2#			2
CCS-RF25-3#			3
CCS-RF25-4#			4
CCS-RF5425-4#		654	4
CCS-RF27-2#			2
CCS-RF27-3#			3
CCS-RF27-4#			4
CCS-RF5427-4#		654	4
CCS-RF30-2#			2
CCS-RF30-3#			3
CCS-RF30-4#			4
CCS-RF5430-4#		654	4
Y合掌部品ユニット HCS-RGY#			
部品名	数量		
柱連結材	3K-19542		
Y合掌材プレート	3K-10921		
Y合掌材キャップ	5K-17923		
トラスタッピンねじ (φ5×25)	ET-5025		
トラドリルねじ (φ4×13)	2K-13422		
HCS-RGY1	3		
HCS-RGY2	6		
屋根ふき材の種類により、屋根ふき材ユニットの末尾の記号が異なります。			
屋根材種類	色	記号	
一般ポリカ	アースブルー	2A	
	スモークブラウン	2C	
	トーマイマツ	2F	
熱線遮断ポリカ	アースブルー/マット仕上げ	3B	
	トーマイマツ	3F	

寸法図 (単位: mm)



呼称	D	H	A	B	C
D24	2400	2364	2669		462
D25	2550	2355	2743	2948	487
D27	2700	2355	2768	2973	511
D30	3000	2355	2817	3021	560

基礎寸法	E	F	G	E	F	G
カーポートサイズ	5124・5125・5127・5424・5425・5724	5130・5427・5430・5725・5727	5430	5124・5125・5127・5424・5425・5724	5130・5427・5430・5725・5727	5430
基礎寸法	490	490	245	590	590	295



呼称	Lt	A
L51+L14	6484	1772
L57+L14	7200	1930

呼称	Dy
D24+D24	4817
D24+D25	4967
D24+D27	5117
D25+D25	5267
D27+D27	5417
D24+D30	5567
D25+D30	5717
D27+D30	6017

呼称	D24	D25	D27	D30
D24+D24	4814	4658		
D24+D25	4964	4808		
D25+D25	5114	4958		
D25+D27	5264	5108		
D27+D27	5414	5258		
D25+D30	5564	5408		
D27+D30	5714	5558		
D30+D30	6014	5858		

組立・施工要領

1. 基礎の施工

寸法図をご覧ください。

2. 柱の建込み・仮固定

柱アンカー（部品ユニット）を基礎に埋め込み、仮固定してください。

3. 梁とジョイント材の組立

梁とジョイント材を正確に組み立ててください。

4. 梁の取付

梁を柱にしっかりと取付けてください。

5. 後枠の取付

後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。

後枠にパッキンを取付けてください。

後枠にドレイン・穴隠しを取付けてください。

6. シーリング

パッキンのまわりをシーリングしてください。

7. 屋根ふき材の取付

屋根ふき材を正確に押しあててください。

8. 屋根ふき材の取付

屋根ふき材の種類により、屋根ふき材ユニットの末尾の記号が異なります。

屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	アースブルー	2A
	スモークブラウン	2C
	トーマイマツ	2F
熱線遮断ポリカ	アースブルー/マット仕上げ	3B
	トーマイマツ	3F

9. 長さ切詰めする場合

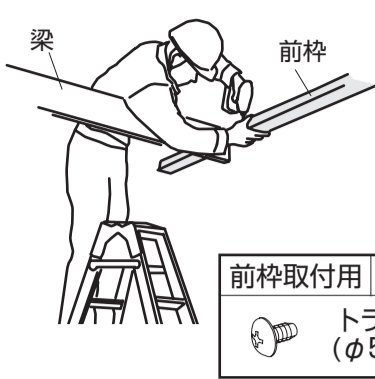
切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。

10. 穴加工

必ず水抜き穴をあけてください。

組立・施工要領

6. 前枠の取付

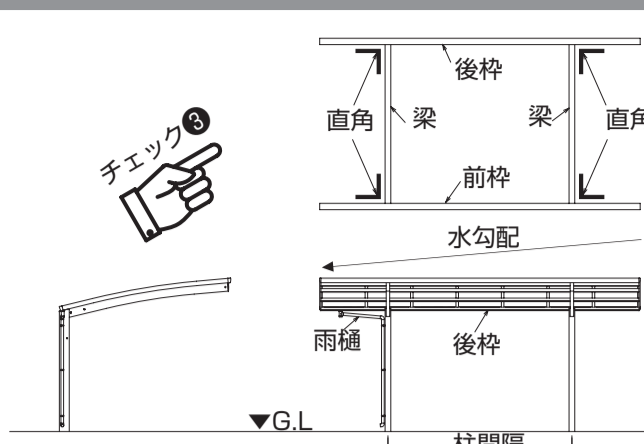


前枠取付用 (部品ユニット)
トラスタッピンねじ (φ5×10)

7. 寸法確認・調整

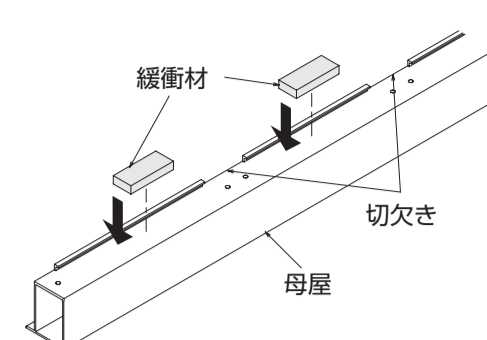
①柱の間隔・垂直
②梁と後枠・梁と前枠の直角
③後枠 (長さ方向) の水勾配
※雨樋取付側が水下側

ポイント
寸法がでない場合は、部材を動かして調整してください。



8. 母屋の取付

緩衝材を母屋の切欠きと切欠きの中心部分に貼付け、母屋を取付けてください。

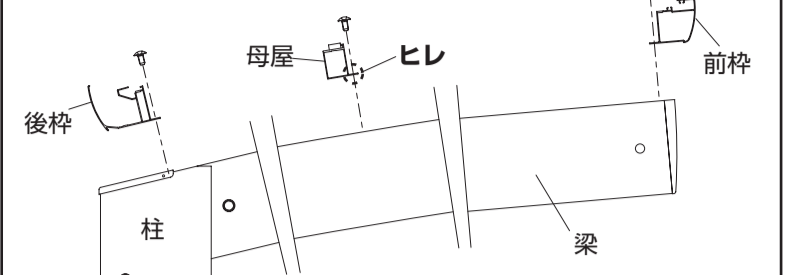


ポイント
緩衝材を母屋のヒレに突き当てて貼付けてください。

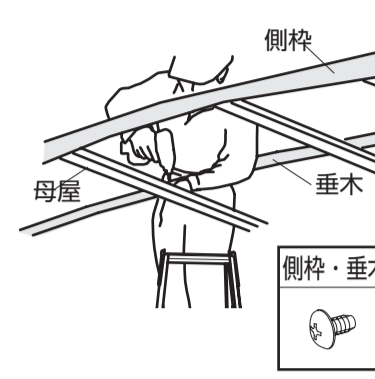


ポイント

母屋のヒレを前枠側に向けてください。



9. 側枠・垂木の取付

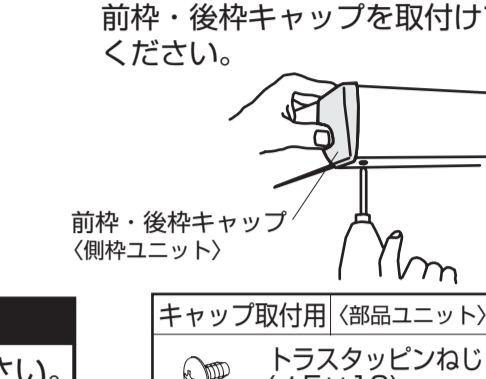


側枠・垂木取付用 (部品ユニット)
トラスタッピンねじ (φ5×10)

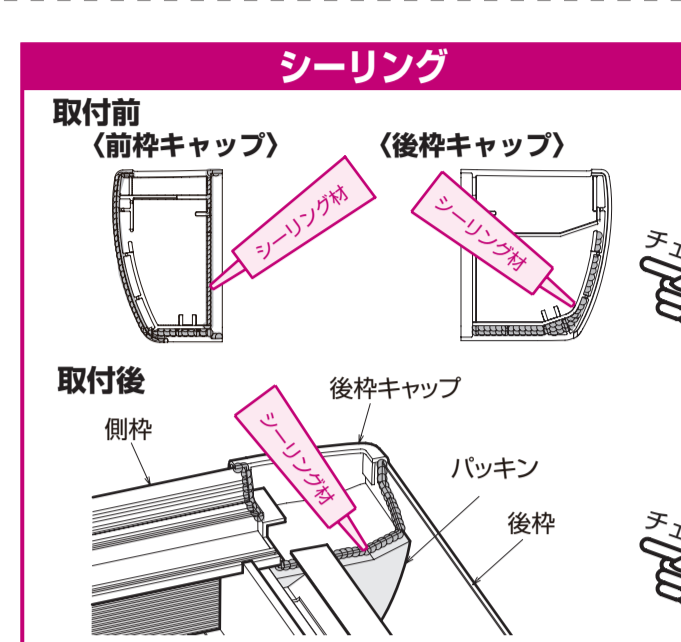
ポイント

前枠側 → 後枠側 → 母屋部の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。



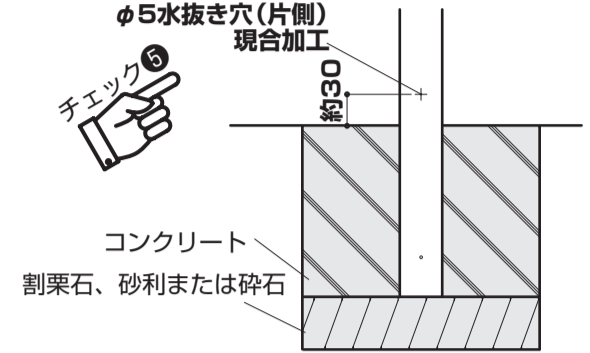
前枠・後枠キャップ (側枠ユニット)
キャップ取付用 (部品ユニット)
トラスタッピンねじ (φ5×10)



10. 本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め

①再度寸法を確認してください。
②柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

11. 基礎コンクリートの打込み

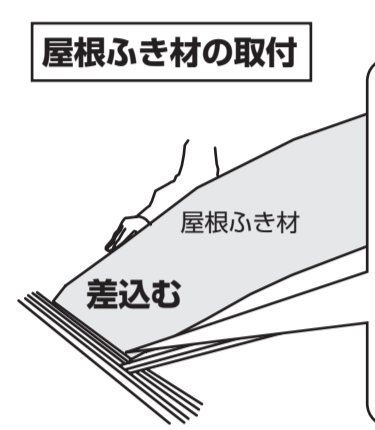


お願い
凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

注意
屋根ふき材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。

12. 屋根ふき材・屋根ふき材押えの取付

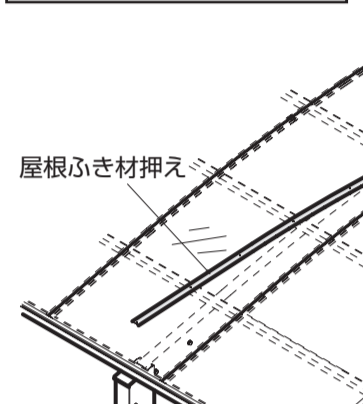
取付前に、屋根ふき材の養生フィルムをはがしてください。



ポイント
後枠の奥にあたるまで押込んでください。
後枠側 差込み順② 前枠側 差込み順①

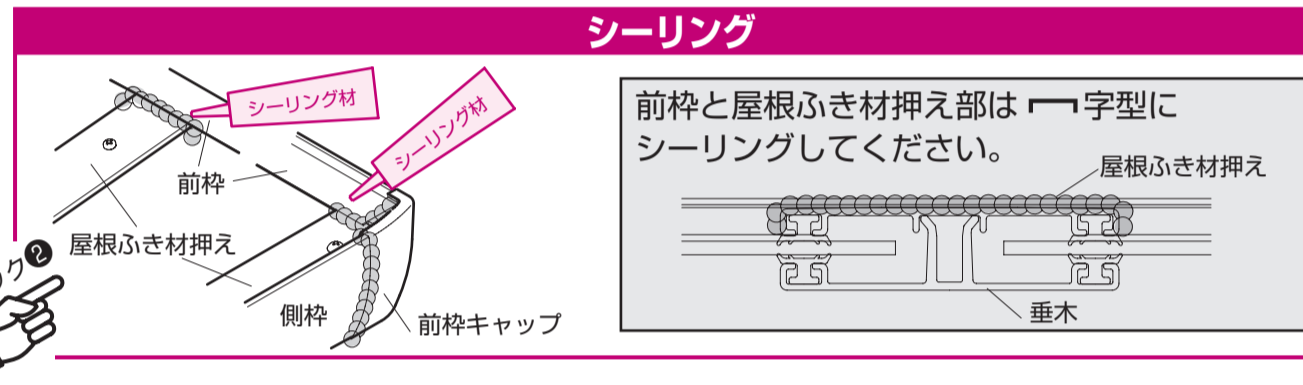
お願い
屋根ふき材のみ込みAが左右同じになるように調整してください。片方のみ込みが浅いと、耐荷重性能低下の原因となります。

屋根ふき材押えの取付



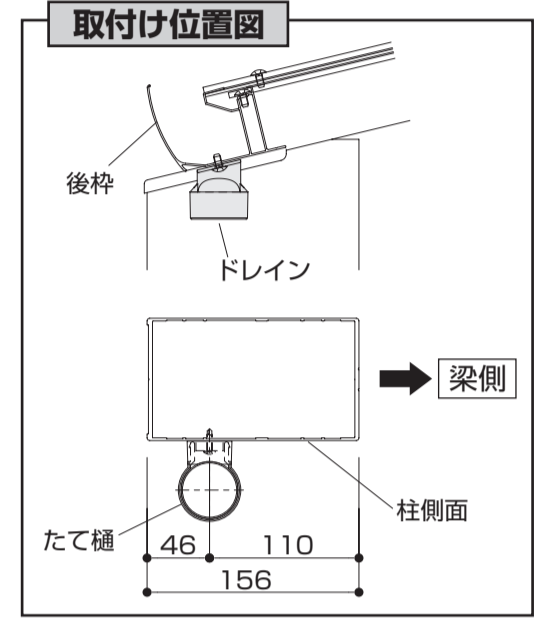
ポイント
●前枠に押しあてる
●ねじ止めは、前枠側から順に行う

お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。



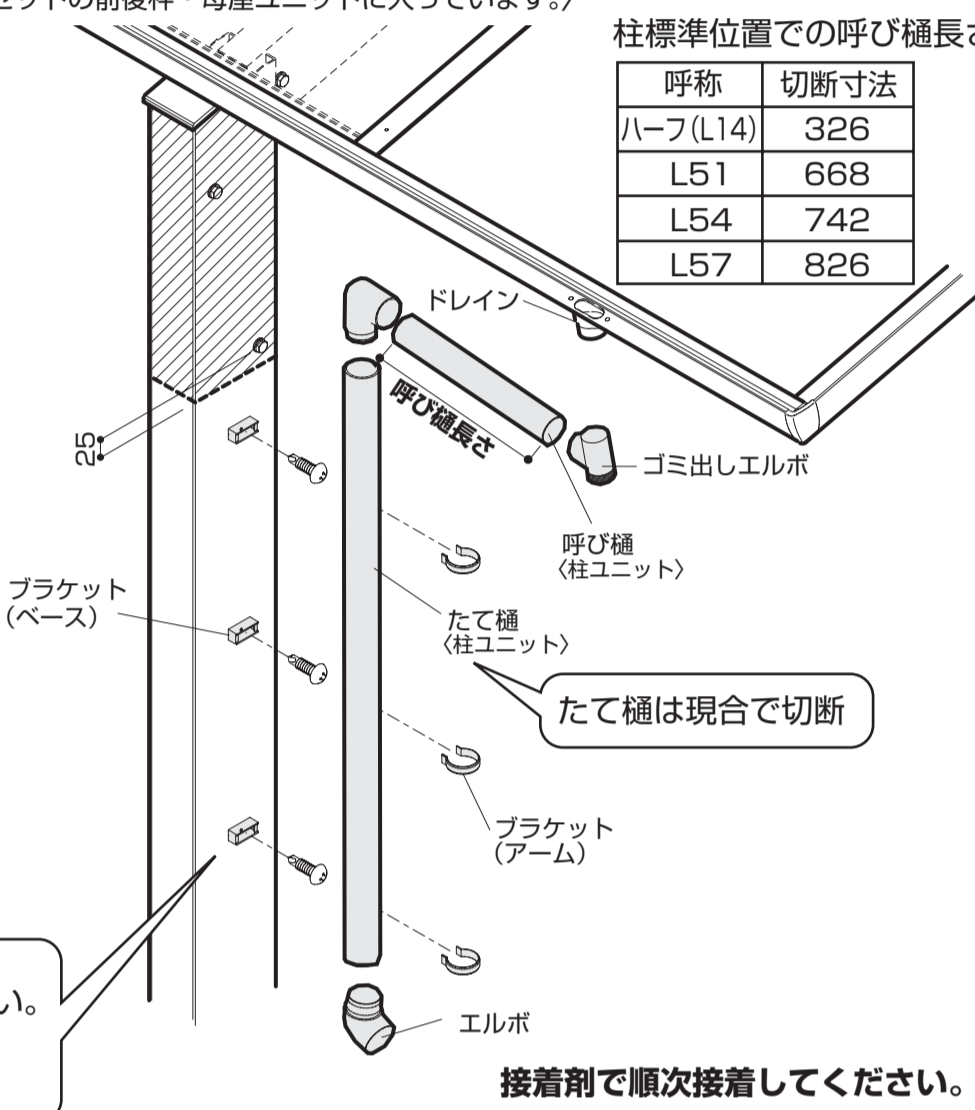
13. 雨樋の取付

くたて種・呼び種以外の部品 (雨樋セット) は、部品ユニットに入っています。ハーフセットの雨樋セットは、ハーフセットの前後枠・母屋ユニットに入っています。



取付け位置図
たて種 46 110 156
柱側面

ポイント
以下の場合は、柱に下穴φ3.5をあけてください。
●斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
●H28柱 (補強材入) に取付ける場合



呼称	切断寸法
ハーフ(L14)	326
L51	668
L54	742
L57	826

たて連棟する場合

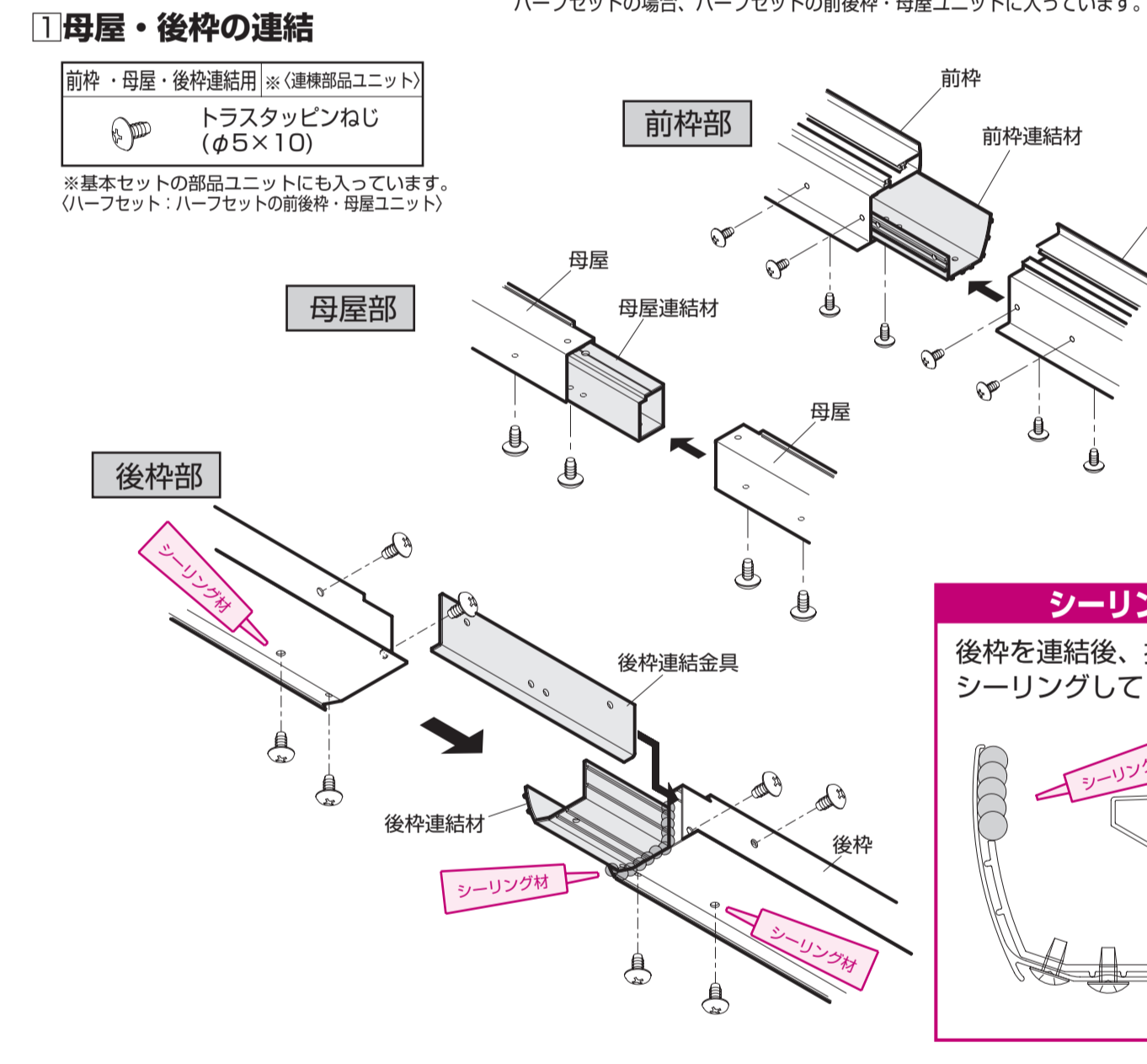
1. 部材の加工

前枠・後枠・母屋の連結部に穴加工 (φ6) を行ってください。

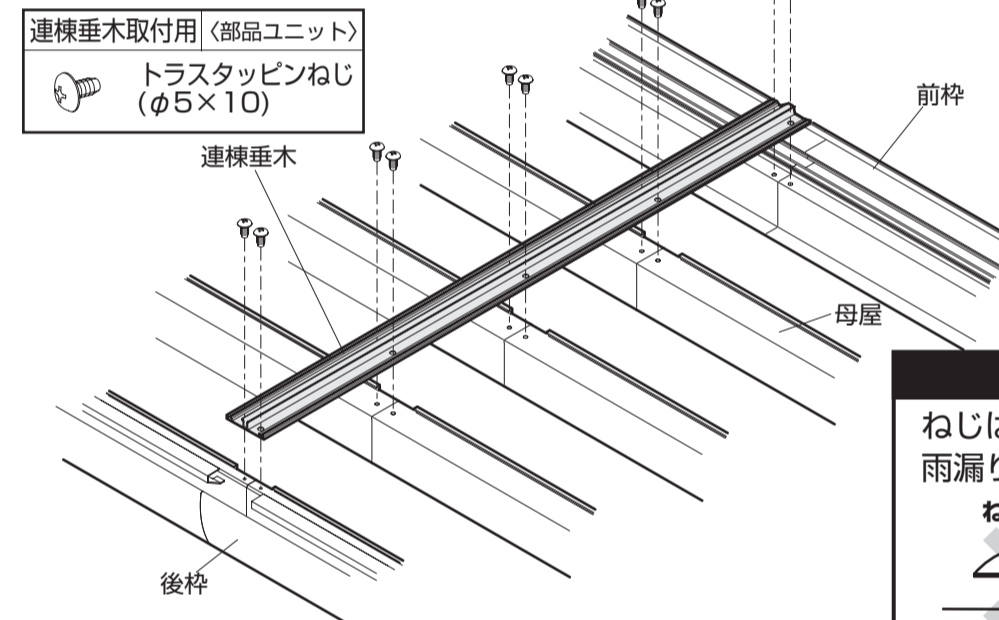
部材	形材断面図	加工内容
前枠		φ6
		φ6
後枠		φ6
		φ6
母屋		φ6
		φ6

2. たて連棟する場合の組立

●部材は連棟部品ユニットに入っています。ハーフセットの場合、ハーフセットの前後枠・母屋ユニットに入っています。

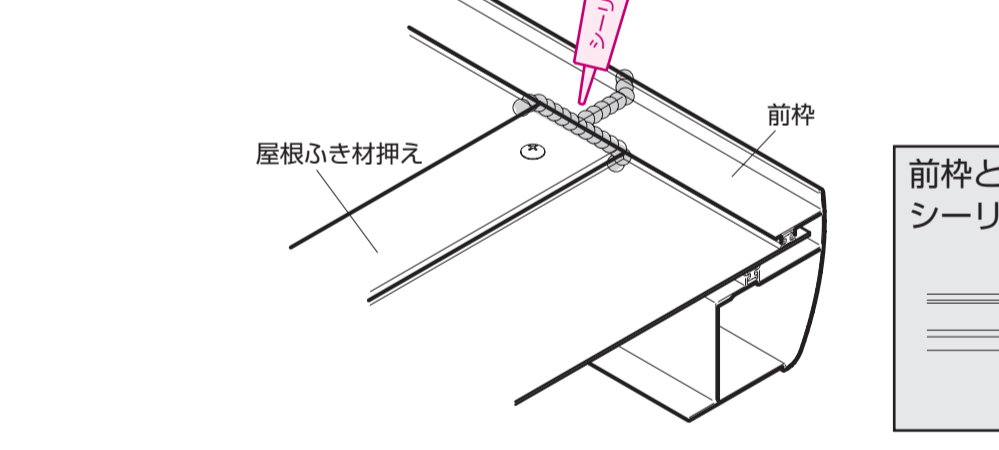


2. 連棟垂木の取付



お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

3. 前枠接合部のシーリング



前枠と屋根ふき材押え部は「」字型にシーリングをしてください。

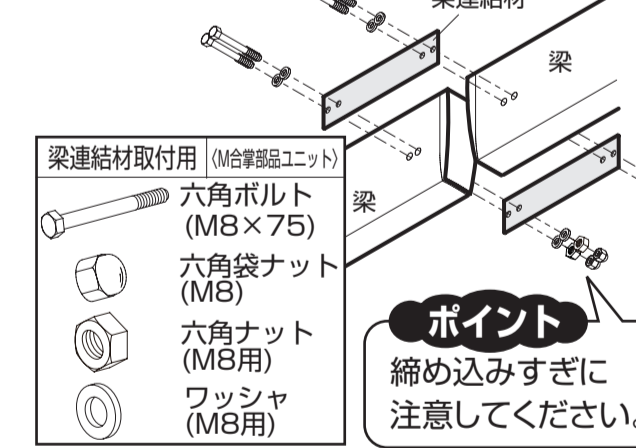
M合掌する場合

●部材は全てM合掌部品ユニットに入っています。

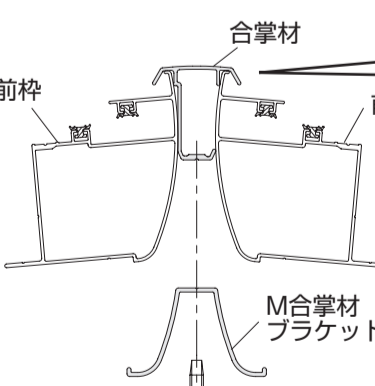
1. 梁の穴加工



2. 梁連結材の取付

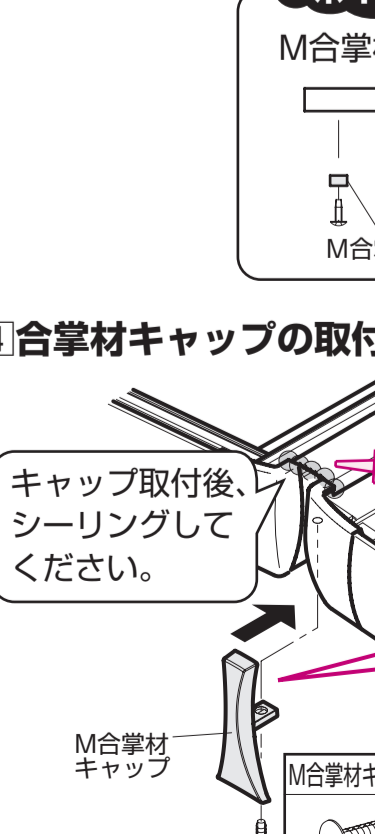


3. 合掌材の取付



ポイント
M合掌材は、4ヶ所に取付けてください。

4. 合掌材キャップの取付

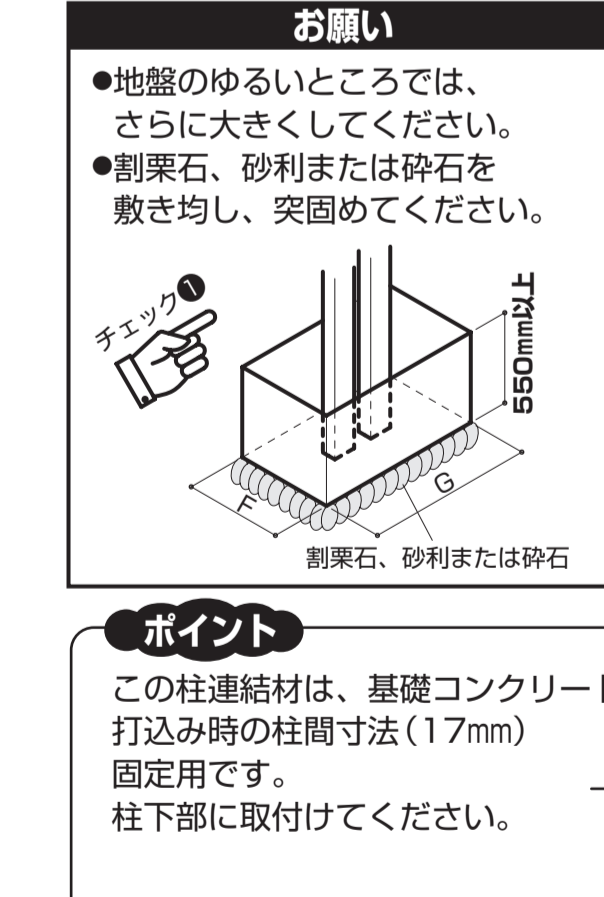


シーリング
M合掌材キャップにシーリング材を充てんし、取付けてください。

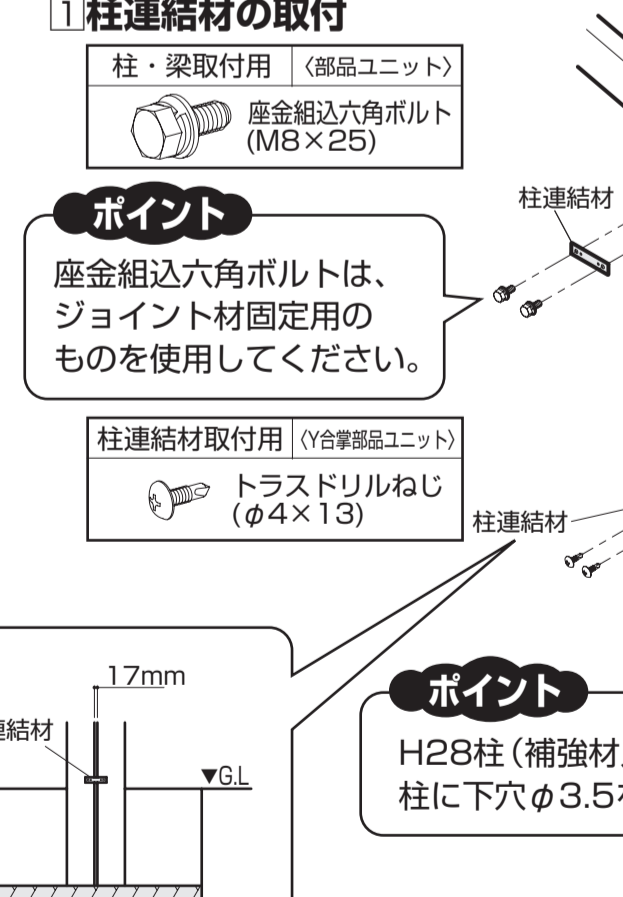
Y合掌する場合

●部材はY合掌部品ユニットに入っています。

1. 基礎の施工 寸法図をご覧ください。



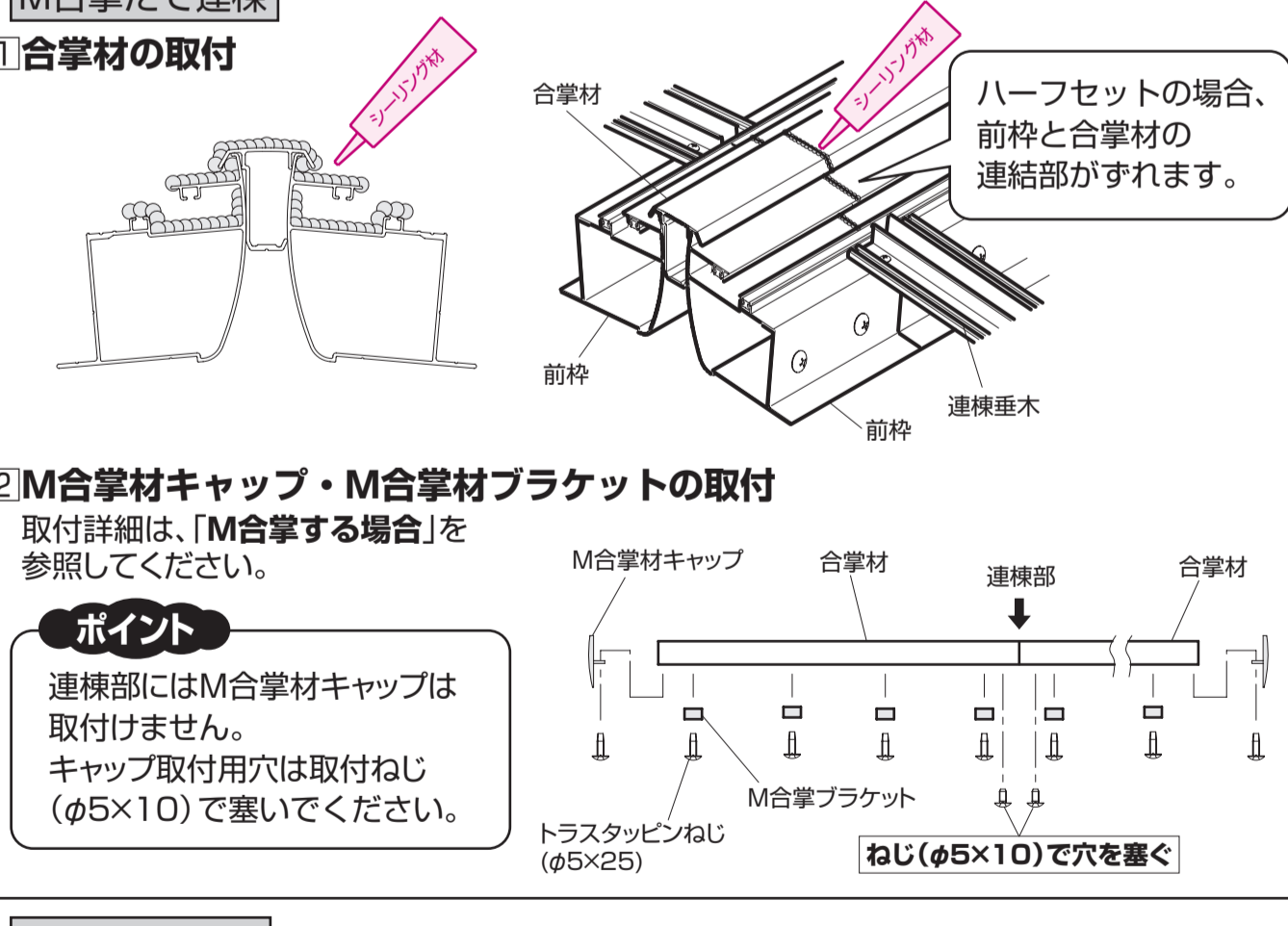
2. Y合掌する場合の組立



ポイント
この柱連結材は、基礎コンクリート打込み時の柱間寸法 (17mm) 固定用です。柱下部に取付けてください。

M合掌 (Y合掌) たて連棟する場合

M合掌たて連棟



Y合掌たて連棟

